

# 第 1 章 東日本大震災の被害概要



## 第1章 東日本大震災の被害概要

### 1 地震の概要

平成23年(2011年)3月11日14時46分、宮城県牡鹿半島の東南東130km付近(三陸沖)で、深さ約24kmを震源として発生。地震の規模を示すマグニチュード(M)は、9.0で、阪神・淡路大震災の約1,450倍のエネルギーの地震であった。

M9.0は、関東大震災(1923年)のM7.9や昭和三陸地震(1933年)のM8.4を上回る日本国内観測史上最大であるとともに、世界的にみてもスマトラ島沖地震(2004年)以来の規模で、1900年以降では世界で4番目の規模となる。

地震が発生した3月11日、気象庁はこの地震を「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」と命名した。また、4月1日、政府はこの地震と津波による災害を「東日本大震災」と命名した。

震源地：三陸沖(牡鹿半島の東南東約130km付近)北緯38度6分 東経142度51分

震源の深さ：約24km

マグニチュード：9.0

各地の震度：宮城県栗原市で最大震度7が観測されたほか、宮城県、福島県、茨城県、栃木県の4県28市町村で震度6強、北海道から九州地方にかけて、震度6弱から震度1の揺れが観測された。

県内の震度：〔震度3〕尼崎市、豊岡市、播磨町

〔震度2〕神戸市、西宮市、芦屋市、伊丹市、加古川市、宝塚市、川西市、三田市、稲美町、加東市、南あわじ市、淡路市

〔震度1〕明石市、丹波市、洲本市

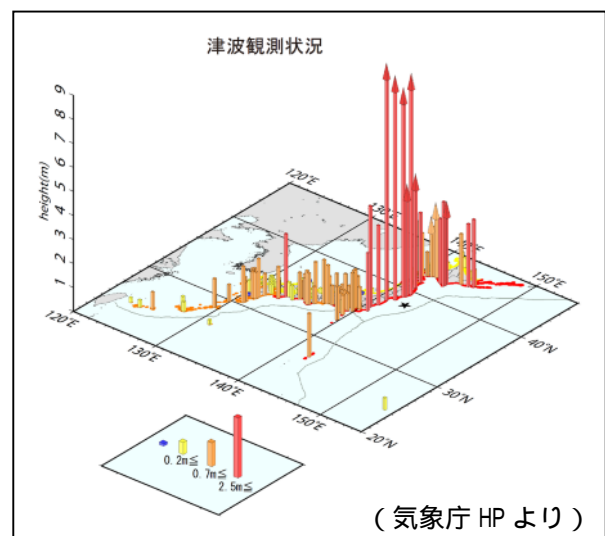
### 2 津波の概要

この地震によって、岩手県、宮城県、福島県を中心とした太平洋沿岸部に大規模な津波が発生した。

各地の津波の高さは、福島県相馬市で9.3m以上、岩手県宮古市で8.5m以上、同県大船渡市で8.0m以上、宮城県石巻市鮎川で7.6m以上などが観測(気象庁検潮所)されたほか、宮城県女川漁港で14.8mの津波痕跡も確認されている。

また、遡上高(陸地の斜面を駆け上った津波の高さ)では、国内観測史上最大となる40.5mが観測された(全国津波合同調査グループ)。

岩手県、宮城県、福島県の3県では、



海沿いの集落が軒並み水没したのをはじめ、仙台平野などの平野部では海岸線から数kmもの内陸にわたる広範囲が水没、河川沿岸では遡上した津波によりかなり内陸に入ったところまで没した。国土地理院の分析によると、津波により浸水した範囲は、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県の6県62市町村で561km<sup>2</sup>の面積に及んだ。

### 3 被害状況（平成24年3月1日警察庁発表）

#### (1) 人的被害

この地震による人的被害は、死者15,854人、行方不明者3,276人、負傷者6,023人にものぼる。また、東日本大震災復興対策本部の2月23日現在の取りまとめによれば、震災後11か月余が経過した現在でも、約34万人が避難生活を送っている（ピーク時約47万人）。

人的被害を都道府県別にみると、宮城県が死者9,512人、行方不明者1,754人と最も多く、次いで岩手県が死者4,671人、行方不明者1,304人、福島県が1,605人、行方不明者214人となっている。

犠牲者の死因の90%以上が津波による水死であり、約90%が倒壊した家屋や家具の下敷きによる圧死であった阪神・淡路大震災と大きく異なっている。

#### (2) 物的被害

建築物の被害は、全壊128,874戸、半壊245,557戸、床上浸水20,427戸、床下浸水15,508戸、一部破損679,871戸、非住家被害57,271戸であり、特に岩手県、宮城県、福島県の沿岸部では、津波によって多くの住宅が流され、全壊戸数は、宮城県で83,932戸、岩手県で20,185戸、福島県で20,142戸にのぼった。

このほか、道路損壊3,918箇所、橋梁被害78箇所、山崖崩れ205箇所、堤防決壊45箇所、鉄軌道29箇所となっている。

家屋をのみ込みながら内陸に押し寄せる大津波

（宮城県名取市）



（毎日新聞記事より）

鉄筋だけが残った南三陸町総合防災庁舎

（宮城県本吉郡南三陸町）



4 東日本大震災と阪神・淡路大震災、新潟県中越地震の比較（平成 24 年 3 月 1 日現在）

	東日本大震災	阪神・淡路大震災	新潟県中越地震
地震の規模 (マグニチュード)	9.0	7.3	6.8
最大震度	震度 7 (宮城県栗原市)	震度 7 (神戸市他)	震度 7 (新潟県川口町)
震源地の深さ	24 k m	14 k m	13 k m
死者	15,854人	6,434人	68人
行方不明者	3,276人	3人	0人
負傷者	6,023人	43,792人	4,805人
住家被害 (全・半壊、一部破損)	1,054,202戸	639,686棟	122,667棟
床上・床下浸水	35,935戸	-	-
焼損棟数	281戸	7,574棟	(建物火災 9件)
避難者数 (ピーク時)	約47万人	316,678人	約10万人
被害総額	(推計) 16兆～25兆円	9.9兆円	3兆円

